

# 江戸時代にタイムスリップ科

(富田林寺内町巡り)

9月26日近鉄富田林駅前観光交流施設前集合

富田林市ボランティアガイドの方のご案内で、寺内町巡りをした。

寺内町とは、真宗のお寺を中心に堀や土塁を巡らせ防御した自治都市のことです。

この地が江戸時代に幕府の直轄地となり商業の町として大いに発展、特に酒造業が盛んで富豪商人が多く生まれた。寺内町には当時の大富豪の旧家が現在も沢山残っており、また江戸時代を彷彿する街並みもあり、時代劇の撮影にもよく使われているとのことでした。

旧家の屋根には素晴らしい鬼瓦や煙出しの櫓、また虫籠窓と言われる小窓が江戸時代、明治、大正時代と変化している家々があり時代の移り変わりを興味深く感じる事ができました。

最後には寺内町創設期からそのまま保存されている旧家、杉山家を案内していただきました。

母屋は17世紀中ごろのものと聞きその素晴らしい建築に感銘を受け、また明治の終わりには堺の与謝野晶子と共に活躍した詩人の石上露子(本名杉山タカ)の生家であるとのことでした。重要文化財である家の中まで詳しく拝見させていただくことができ素晴らしい体験でした。ボランティアガイドの皆さんありがとうございました。

見学終了後は、古い土蔵を改良した万里春で地ビールと美味しい昼食に舌鼓を打ち大満足の校外学習でした。

